



開物成務

令和元年 7月 18日(火) 発行

校長 津田 将美

水泳学習から



「ファイトー、ファイトー」

体育センターのプールの中に、自然と子どもたちの声が沸き上がってきました。

水泳学習最終日、記録会でのことです。めあてに向かって一生懸命泳いでいる仲間の背中を、みんなで後押ししているようです。力をもらって見事めあてを達成したその子は、プールから上がって、肩で息をしながらニコッと笑いました。その笑顔は誇らしげで、声援を背に力を出し切った満足感であふれていました。

「がんばったね。」

「うん！」

私も思わず、その子とハイタッチをしました。

声援は続き、多くの子どもたちが自分のめあてに向かって力を出し切りました。

みんなうれしそうで、いい水泳学習のまとめができたなあ、と感じました。



今年度で3年目となる南足柄市体育センターでの水泳学習が終わりました。町と教育委員会に全面的にバックアップをいただき、年々指導内容が充実してきました。

体育センターでの水泳学習が始まったのは、平成29年度のことです。プールがないというピンチをチャンスに変えようと職員一丸となって、よりよい指導になるように検討、検証を重ね、学習効果を上げるための工夫をしてきました。多くの成果が出ましたが、課題については職員でその都度出し合い、教育委員会とも共有しながら解決を図ってきました。

3年目を迎えた令和元年、学校としては本校のプール学習の良さを以下のようにとらえています。

- ①授業数確保が課題とされている中で、予定通り学習を行うことができる。
- ②入水後、寒くて休憩する児童がほとんど出ず、十分な学習時間が確保できる。
- ③プール管理の必要がなく、その分より良い指導の工夫・改善に集中できる。
- ④外部指導者による指導が充実し、教育効果が上がっている。
- ⑤多くの保護者ボランティアの参加があり、指導への支援につながっている。
- ⑥保護者ボランティアと共に同じ目標をもって指導にあたることができる。



特に、保護者の皆様と同じ方向を向いて指導にあたることができるというのは、学校の教育についてご理解・ご支援をいただくための貴重な機会ととらえています。

保護者ボランティアの方は年々増えてきていて、本当にありがたいことだと感じます。今年度は特に、トイレに連れて行っていただいたり、スタートの合図を出していただいたり、入水して体を支えていただいたり、ゴールで声をかけてくださったり…と共に指導ができた充実感が強くあります。

今回の水泳記録会のように、水泳学習の良さは、子どもたちがめあてを達成した時の笑顔に象徴されます。めあてを達成し喜ぶ子どもたちに、ボランティアの方が笑顔で声をかけていただいている姿を見て、水泳指導の「良さ」を共有できたと感じました。

1学期も明日が最終日。これまでの多くの皆様のご支援・ご協力、本当にありがとうございました。ご家族で、よい夏をお過ごしください。



特別支援学級交流会 7月2日(火)

毎年開かれている7月の交流会が、今年度は開成小学校で行われました。開成南小学校、文命中学校から特別支援学級の仲間がたくさん来てくれました。

かいせい学級の子どもたちが特に楽しみにしていたのは、卒業した先輩に会えることのようにでした。

「今日、来るんだよね。」

いかにも楽しみであるというように、目を輝かせて話している姿を見ると、やはり同じ教室で学んだ仲間のことは、いつまでも大切な存在で、ここにも開成小学校の素敵な伝統があることを感じました。

室内での活動、体育館でのゲーム、図書室でのおやつタイムと交流は進



みました。場面場面で、中学生がリーダーシップを発揮してくれます。その姿は、本校のピカピカ班の活動と重なります。継続してこのような交流をしていくことで、未来の自分の姿を思い描くことができるのかもしれません。

すべての活動が終わって、いよいよさようならです。それぞれの学校へ帰っていく仲間を見送る後ろ姿は、充実しているようでもあり、少し寂しそうでもありました。何とも言えない、素敵な交流ができたことを感じさせてくれる後ろ姿でした。

また2学期以降、今より成長した自分の姿で、交流できることを楽しみにしています。



最後に記念撮影

水辺の安全教室

7月10日(水)

昨年度に引き続き、水泳学習の総まとめとして、「水辺の安全教室」を行いました。今年度の講師は、日本赤十字社神奈川支部の方をお願いしました。

夏になると毎年多くの方が海やプールなどの水辺のレジャーを楽しんでいますが、やはりこの季節は1年で水の事故が一番多い時期であるということです。

水泳学習では学年によって指導内容は違いますが、共通している大切な視点は、「水に親しむ」ということです。そのことは日常生活の中で活かしてこそ学んだ価値があるものですが、同時に、「水の怖さ」について知ることにも必要になってきます。

海・川・湖・沼での水遊びはなぜ危ないの？という視点で具体的な事例を資料を提示しながら説明してくださいました。夏を楽しむためには、まず安全への心構えから、ということ子どもたちは学んでくれたと思います。

低学年には少し難しい内容もありましたが、講師の方の問いかけに、最後までとてもよく反応していました。

授業が終わった後、講師の方から、

「低学年の子は、最後の方はあきてしまうものだけど、開成小学校の子どもたちは最後まで一生懸命聞くことができていて、すばらしかったです。」

というお褒めの言葉をいただきました。

ここで学んだことを是非、日々の生活の中で活かし、水と豊かに付き合っていってほしいと思います。



水辺の安全について真剣に聞く

読書の世界へようこそ

本読みママさんの皆様には、朝の読み聞かせだけでなく、昨年度より昼休みにも読み聞かせを行っていただいています。読書の世界へいろいろな形で招待していただき、想像力を豊かに育んでいます。本当にありがとうございます。

夏休みにも、素敵な読書生活を送ってください。

